

令和5年度

決算報告書

国立大学法人山口大学

令和5年度 決算報告書

国立大学法人山口大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	12,357	12,507	151	(注1)
施設整備費補助金	1,712	1,439	△272	(注2)
補助金等収入	665	1,705	1,039	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	0	
自己収入	33,335	35,796	2,461	
授業料、入学料及び検定料収入	6,082	6,072	△8	(注4)
附属病院収入	26,397	28,621	2,225	(注5)
財産処分収入	-	-		
雑収入	857	1,102	245	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,596	3,098	502	(注7)
長期借入金	4,737	4,638	△98	(注8)
目的積立金取崩	-	700	700	(注9)
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	1	1	
計	55,420	59,906	4,486	
支出				
業務費	44,344	47,326	2,982	
教育研究経費	19,196	18,713	△482	(注10)
診療経費	25,148	28,612	3,465	(注11)
施設整備費	6,467	6,095	△370	(注12)
補助金等	665	896	231	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,596	2,734	139	(注14)
長期借入金償還金	1,348	1,321	△26	(注15)
計	55,420	58,376	2,956	
収入－支出	0	1,530	1,530	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった教育・研究基盤維持経費の追加配分が行われたことにより、予算額に比して決算額が151百万円増加となりました。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更に伴う繰越及び返還が行われたことにより、予算額に比して決算額が272百万円減少となりました。
- (注3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症対策のために附属病院へ措置された補助金及び国からの補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,039百万円増加となりました。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が372百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数及び入学志願者数が予算積算員数に比して減少したことにより、予算額に比して決算額が8百万円減少となりました。
- (注5) 附属病院収入については、病院整備の進捗に伴う病床数回復及び高額医薬材料の出来高による収入増により、予算額に比して決算額が2,225百万円増加となりました。
- (注6) 雑収入については、動物治療収入、土地建物等貸付料収入等、自己収入の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が245百万円増加となりました。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が502百万円増加となりました。
- (注8) 長期借入金については、計画変更に伴う繰越が行われたことにより、予算額に比して決算額が98百万円減少となりました。
- (注9) 目的積立金取崩については、病院再開発整備のために目的積立金を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が700百万円増加となりました。
- (注10) 教育研究経費については、運営費交付金による事業の一部を翌年度へ繰り越したことで、予算額に比して決算額が482百万円減少となりました。
- (注11) 診療経費については、附属病院稼働増及び材料費高騰等に伴う診療経費の増加により、予算額に比して決算額が3,465百万円増加となりました。
- (注12) 施設整備費については、(注2)および(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が370百万円減少となりました。
- (注13) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が231百万円増加となりました。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、事業規模が拡大したため、予算額に比して決算額が139百万円増加となりました。
- (注15) 長期借入金償還金については、予算段階で想定していた支払利息見込と差異が生じたため、予算額に比して決算額が26百万円減少となりました。